

(第3種郵便物認可)

約七年間のロシア暮らしを経験して四月に帰国した横手市横山町の新田祐子さん(四二)が、雑貨販売会社ユニサービスを設立し、ロシア伝統工芸品の輸入を始めた。

新田さんは二〇〇一年、ロシア第三の都市ノボシビルスクに渡り、大学で日本語教師を務めた後、ソフトウェア開発会社で働いた。滞在中、シベリアに「ペレスト」と呼ばれる、白樺の樹皮から作る美しい工芸品があることを知った。桜皮細工の白樺版ともいえるが、作り方は異なる。白樺の樹皮は軟らかく、型押し

## ロシア伝統工芸品「ペレスト」輸入

して模様を付ける。水洗いできることから、現地の女性にはクリームなどの容器などとして利用しているという。

ペレストの魅力にひかれ、本業の傍ら、日本の雑貨商向けに輸出し、昨年は約五百万円を販売した。事

## 人脈生かし販路拡大

業に本腰を入れようと帰国して間もない先月下旬、ユニサービスを設立。今後は、販路を一般顧客にも広げる考えだ。

「ロシアの民芸品ではマトリョーシカ人形が有名だ



ロシア伝統工芸品ペレストの輸入販売会社を設立した新田さん

## 横手市の女性、会社設立

が、ほかにもすてきな工芸品がある。腕のいいペレスト職人と知り合って仕入れルートは確立しており、日本語教師時代の教え子が現

度創業支援企業に決まった。インターネット販売にも力を入れて、初年度は一千万円の売り上げを目指している。

地スタッフとして輸出手続きを担う」と新田さん。

ユニサービスは、あきた企業活性化センターの本年